



ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区

京都部部報

2016-2017年度 BULLETIN

第3号 / 2017.06発行

京都部部長主題	子供たちの未来のためにさあ始めよう、ワイズの教智と行動で	京都部部長 廣井 武司	京都プリンス
西日本区理事主題	ワイズ魂で更なるワイズの活性化を！	西日本区理事 岩本 信	北本にし
国際会長主題	“Our Future Begins Today.” 「私たちの未来は、今日より始まる」 スローガン “Together We Can Do So Much More.” 「手を取り合えば、もっと多くのことができる」	国際会長 Joan Wilson	カナダ
アジア地域会長主題	“Respect Y's Movement” 「ワイズ運動を尊重しよう」 スローガン “Solidify Y's Men Family for Better World” 「よりよい世界のために、ワイズメン・ファミリーの絆を強めよう」	アジア会長 Tung Ming Hsiao 台湾	

第21代京都部部長 廣井 武司（京都プリンス）

みんなに支えられて



「子供たちの未来のために さあ始めようワイズの教智と行動で」を主題に一年は本当に早く過ぎてしまいました。YMCAのプログラムに地域社会への支援にクラブの事業は今年も素晴らしい活動を展開していただきました。京都部の代表として区の役員会に出て皆さんののおかげで部活動報告は胸を張って発表することができました。

ワイズ、ワイズで明け暮れた一年でしたが、京都部のメンバー、クラブ会長、事業主直そしてキャビネットの方々に支えていただき、ワイズメンで良かったということをごんごにも感じる事ができて本当に幸せな一年を経験することが出来ました。

部長公式訪問はとくに気を配りました。貴重な例会を提供していただく訳ですからその意義を今一度考えて取り組んだのですが、いつも反省が残りました。随行していただいた主査、委員長のサポートに感謝いたします。そして温かく迎えていただいたクラブの皆様から御礼を申し上げます。

充実した一年の後のロスが心配ですが、部長をしたおかげでたくさんの仲間ができました。この財産は大切にしてゆきます。これからもよき仲間であってください。感謝

役員・事業主査

次期部長 竹園 憲二 京都ZEROワイズメンズクラブ



次期部長の一年間に学ぶ事が多かった私は廣井部長並びに役員さん、そしてワイズメンズクラブの皆さんにまず感謝申し上げます。有難うございました。

ひたすら自分に自信がない中どうしていけばいいのかすら分からなかったのですが、今の自分には今期お世話になる三役そして今期の事業主査さん達と色んな事を考えているだけで少し進んで行け

る気がします。歴代の部長さんの部長主題、方針はワイズを楽しく皆んなでと感じとれるコメントが多いです。やっぱり私も楽しく活動したいと思います。その為にも少しの苦労、工夫、話し合いは必要だと思います。どうせやるなら言う言葉の中で良かったなと言えぬ瞬間の為に頑張っていきたいと思います。どうか次期もご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

直前部長 高田 敏尚 京都ワイズメンズクラブ



ゴールデンウィークに信州に行ってきました。安曇野、白骨、上諏訪と温泉めぐりです。優雅やなど言われるかもしれませんが、でも、人生どっかで優雅にしないとと思っています。話はかわりますが、家の近所と同じ幹から白と桃色の花をつける庭木があります。すこいな、紅梅と白梅のかけ合わせかな、ウメにしては咲く時期が遅いなどか思っていました。ところがです。信州飯田市のお隣、下條というところに行くと、なんとこの感動の木がいっぱいあります。街路樹にも、庭木でも普通に植えられ、この時期は満開なのです。そして、この木がハナモモということがわかりまし

た。モモだったのです。京都では希少価値があっても、ここではあたりまえ。きてみてわかる、何でも経験してみるものだと思います。

京都部部長を離れて約1年。いろんなことを経験させていただきました。西日本区の会議にも参加しました。わからないことだらけから、少し大きな視点からワイズを眺めることができました。直前部長という立場で今期は京都部とかわりました。やっぱり経験です。推された時はイエスの返事で、今後の京都部を支えるワイズが続くことを願っています。何でも経験してみるものです。

書記 松田 博一 京都ウエルウイズメンズクラブ



今期京都部書記を務めさせていただいております、京都ウエルクラブの松田博一です。一年間、本当にありがとうございました。

早いもので書記を拝命してから一年が過ぎました。昨年の今頃は準備役員会を開きながら、あれこれと案を練っていたのを懐かしく思い出します。

京都部の役員をやらせていただき、始めて気付いたことも沢山ありました。例えば、各クラブの会長の、皆様の思いの熱さです。やはりこれが京都部全体の力となっているのだなと思いました。それと、部長と各事業主旨の方たちのご苦労も目の当たりに致しました。たかが1年間ではありますが、1年しかないからこそ苦労する面も多かったように思いま

す。廣井部長には、ご迷惑ばかりお掛けいたしました。

しかし、いつもこの場に書かせていただきますが、私自身がワイズ活動を楽しむことができたのが本当に良かったと思っています。書記の仕事も新しい経験として楽しむことができましたし、色々なクラブの方たちとも更に交流を深めることができました。また、自クラブの活動を振り返れば、自分が京都部の役割を勤めさせて頂く分、迷惑をかけてしまったことも多くありましたので、次は今回の経験を生かして、しっかり谷会長のサポートをして行きたいと思っています。

皆様、本当に1年間有り難うございました。

書記 小野 敏明 京都プリンスウイズメンズクラブ



書記として最後の仕事になるであろう部報第3号の資料を整理しながらこの原稿を書いております。先日、今期最後の京都部役員会も終えました。今週末には西日本区大会が開催され、また、来週末には最後の評議員が開催されます。部役員としての最終月ではありますが、余韻に浸り、今期を振り返る暇もなく時間に追われているのが現状です。そんな中、しばし現実から逃避し一年間を振り返ってみると、部役員としての一年間は、ワイズメンとして新たな交流と実践の機会を私にもたらして

くれたと実感しております。部役員、各クラブ会長様など素敵な面々との交流はとても貴重な時間でした。また、様々な実務を経験する事により、西日本区及び京都部全体を捉える視野も獲得できました。

支えて頂いた部役員の皆様をはじめ、相当数のメールを配信し続けたクラブ会長の皆様、至らぬ事が多々あったかと存じますが、皆様のおかげをもちましてお役を全う出来たと存じます。一年間、本当にありがとうございました。

役員・事業主査

会計 飯尾 豊 京都プリンスウイズメンズクラブ



早いものです。次期に引継ぎの後一カ月を残すのみになりました。この時期になりますと仮決算で会計は大変な作業となりますが、今期は会計を引き受けた時からコンピュータの力を借りようとしてシステム化したおかげで、私個人としては楽になりました。さて今期を振り返りますと、やはり前期の京都部の部費の請求です。各クラブからの前期報告書を基に請求人数を出すときに正会員、広義会員、連絡主事、特別メネットが西日本区と京都部との違いで大変戸惑いましたが三役の皆様にご

協力をいただき無事、前期請求を出した事を思い出します。そして今期の会計は例年と違い北京都フロンティアクラブが設立され多くのお金が動きましたので一番気を遣いました。まだまだ書きたい事がありますが、この一年キャピネットになったお蔭でクラブの垣根を越えた御付き合いと、経験をさせていただき感謝しております。まだ今期本決算が残っておりますが、頑張っていきたいと思っております。

YMCAサービス・ユース事業主査 太田 雅彦 京都府中ウイズメンズクラブ



Yサ主査を拝命して様々な行事に携わり、お蔭様で今のところ事故の報告も無く、1年を終えることができますように関係全てのみなさまに感謝申し上げます。

ちょうど1年前に京都 YMCA から支援・協力の内容を一覧表で要請を受けました。それには各クラブへ単にPCメール連絡でよいものから、先日のチャリティーランのように準備金庫が約10回・人も必要・資金も必要で濃厚な大型のものまで、行事数は25程ありました。

ウイズのある手引き文書に「Yサは、YMCAが牽引の目的ではなく、YMCAと「協働」して行う事業です」とあります。「協働」の意味を調べてみると、「それぞれができることや得意分野の事を出し合い、一緒に行動するという意味合いが強い」

とあり、共同や協同とは違うようです。

前述の行事について各クラブ並びに一人ひとりの価値観の基で自己判断しての参加をされ、それは自己研鑽に繋げておられることと存じます。

1年間、誠にありがとうございました。またこれからもどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



地域奉仕・環境事業主査 山川 新一 京都めいぶるワイズメンズクラブ



昨年の7月、期首にあたり主題を「今、わたしたちができること」～すべての子どもたちへ～としました。部長の主題である「子どもたちの未来のために」を受けてのことでありましたが、京都部の各クラブそれぞれに素晴らしい地域奉仕事業を永年継続されていて地域の福祉施設であったり、児童養護施設であったり、または小学校の子どもたちを対象にしたスポーツイベント（野球、サッカー、マラソン）と工夫を凝らした事業がありワイズもそれを糧に自己研鑽に励まれ、地域からも感謝されている現状がよく分かりました。環境事業に関しては、地域への清掃奉仕や竹林の整備、神社の環境整備など積極的に取り組んで頂いている事にも感謝です。委員長さんにはできるだけ多くのメンバーが参加できる様に工夫され皆が達成感と喜びを共有できるようお声がけいただいていると思います。

地域奉仕の献金について、この一年、皆さまにはご協力頂き本当に有難うございました。国際献金のT O Fは目標額を達成できました。R B Mは75%弱の達成でした。C S献金も達成、F F献金は80%強の達成状況でした。京都部では、エイブルクラブさんがC S資金援助を使い京都 YMCA 地域交流少年・少女サッカー大会事業を行われました。2月の京都部C Sチャリティーボウリング大会では多くのご協力を有難うございました。ホスト頂いたウイングクラブさんにも感謝いたします。次期の京都部地域奉仕・環境事業も千賀修主査のもと、益々発展、拡大される事を願います。そして世界中の「子どもたちの未来のために」今できる事をワイズ一丸となって取り組んで頂きます様に願っております。一年間、本当に有難うございました。

EMC事業主査 久保田 雅彦 京都グローバルワイズメンズクラブ



今期、EMC事業主査を仰せつがっております京都グローバルクラブの久保田雅彦です。今期は京都部メンバー数550名を目標にEMC主査として活動をして参りました。今期のEMCに関する大きな出来事は9月11日に加盟認証状伝達式が執り行われました北京都フロンティアクラブの誕生です。新クラブ発足により京都部は19クラブとなり、舞鶴の地に20数名のワイズメンが誕生致しました。この新クラブ発足を皮切りに京都部各クラブで会員増強が活発になったように感じます。7名の増強（4月末現在）に成功されました京都パレスクラブを筆頭に各クラブで入会式が頻繁に執り行われております。今期は19クラブ中14クラ

ブで新入会員を迎えられ、京都全体では期首メンバー数484名、現メンバー数519名（4月末現在）と35名の増強となっております。私も部長公式訪問では10クラブに随行させて頂き、EMCについてスピーチをさせて頂きました。また多くのクラブの入会式にも訪問させて頂き、その素晴らしい時間を共有させて頂きました。すべてのクラブにおいてEMCに対する高い意識を複数年に渡って更に持ち続け、次期・次々期のメンバー増強に取り組んで頂ければ幸いです。最後になりますが、入会歴の浅い私にこのような大役を与えて頂きましてありがとうございます。心より感謝申し上げます。

役員・事業主査

国際・交流主査 上澤 正廣 京都エイブルワイズメンズクラブ



京都部第 21 期、廣井武司京都部長のもと、国際交流事業主査をさせて頂き色々なクラブへの訪問、いろいろな事業への参加と体験させて頂き感謝の思いです。部内では部長様行でセクラブに訪問しました。それぞれのクラブの例会スタイルにも勉強させられました。少しに時間を頂き、部内のIBC/DBC の締結状況の報告、BF ファンドのお願いなどをさせて頂きました。

2017年2月3日・4日の2日間、東山社にて開催された、第2回東西交流会にも参加しました。西日本区から171名、東日本区から187名、台湾から11名の369名が集い、東山社開設100周年を期に建設された研修棟をメイン会場に、多彩な交流プログラムでの2日間でした。特にDBC 締結クラブは思い思いの交流の場となったことと思います。

BF 資金の活動として切手の収集をお願いし5クラブ18.5Kgの協力を頂きました。

3月24日には京都部での、国際・交流懇談、懇親会を森田美都子事業主任、廣井部長、竹園次期部長、高坂次期主査にご出席頂き開催しました。参加クラブの委員長さん、会長さんから今年度の交流状況を発表して頂きました。京都部は国際交流。国内交流ともに活発に活動されていることに感謝を受けました。

5月には13日、14日の2日間富士山YMCAの開設10周年の記念式典にも参加し新たな出会いがありました。

主題を「出会い・親睦・ワイズの輪」としてスタートした1年、自分自身の研鑽の場としているる体験させて頂いたことに感謝です。

西村メネット事業主査 西村 博 京都プリンスワイズメンズクラブ



9月の京都部部会では、メネットアワーの開催が出来ませんでした。今期の西日本区におけるメネット事業「エスペランサ支援」については部内各クラブに支援の呼びかけに努め、部会においても支援物販に協力させて頂きました。

2017年3月4日(土)、京都部の今期部長標語「子どもたちの未来のために」をも響み、京都部メネット事業として講演イベントを開催する事ができました。この事業を通して、西日本区メネット事業「エスペランサ」、そして京都府舞鶴市の不登校児童に寄り添うフリースクール「聖母の小さな学校」への支援が出来ました。

講演は、複雑な環境下で様々なストレスを抱え、いろいろな形で悩み苦しむ子どもたちに大人として、どのような関わりを持つべきか、何が出来るかを、ノートルダム学院小学校長菅校長シスターベアトリス田中様にお話していただきました。そ

してノートルダム学院小学校の子ども達による美しい天使の歌声をお楽しみいただきながら、参加者皆で話し合う機会を持つ事ができ、ご協力いただきました多くの皆様へ感謝いたします。

一つ残念なことは、私がこの大事な時期に病気になるという皆様にも多大なご迷惑をお掛けしてしまったことです。西日本区におけるメネット事業は「メネットがメンのサポーターであるのみならず、メネット独自の事業を企画しメネット全員の方で運営し目標の成果を挙げる」というものです。京都部各クラブに向けて、この点をしっかりアピールし、メネット事業への取り組みをお願いしていきたく思っておりましたが前述の結果、各クラブへの訪問が叶わず十分な成果につなげることができなかった事を大変残念に思っております。

京都部PR委員長 岡西 博司 京都プリンスウイズメンズクラブ



一年を振り返ってみて、今思う事は、非常に残念なのですが、自分はいったい何をしてきたのだろうという、悔いの残る思いでいっぱいです。

PR委員会とは、何をするとするところなのか？この答えを出すべく、自分なりに行動を起こし、考え方を修正しながら来ましたが、今になっても満足のいく答えは得られておりません。今まであった広報主旨とはどう違うのか？という問題にも明確な答えは得られていないと思います。

PR委員会と言えば、どうしてもホームページと繋がって来ます。

現在においては、HPと言うものを切り離して考えられない世の中になっているとは思いますが、一番大切なことは、見てもらえるだけの内容が充実しているのかと言う事ではないかと思えます。絶えず新しい情報を、それも内容のある情報がアップされていることが大事なのではと、思います。

HP以外にも、広報する手段はあるのでは、とい

う思いから、又各クラブの会長様たちの意見を重視して、今期は各クラブの名前を入れた権を一本づつ進呈させて頂きましたが、本当に必要だったのか、まだ答えは出てきておりません。是非とも活用して頂ける事を心より切望しております。というのも、京都部の大事な部費の一部を使わせて頂いたからです。数年前には、部費の値上げの問題で一年間すったもんだしたことを覚えておられる方も多いと思いますが、安易に部費を使わせて頂いた事に、ご批判もあるのではないかと思うからです。

この辺のことを、次期の金原委員長に託して今期は終わらせて頂くこうと思いますが、10年先、20年先の日本のウイズメンズクラブがどうなっているのだろうか？そんなことに思いを馳せる機会を得られた委員会でもあったことに感謝しつつ、パトタッチしたいと思えます。ありがとうございました。

各クラブ会長

京都ワイズメンズクラブ 会長 三保 俊幸

あらためて会長主題「さあ、もう一度みんなで Let's give it another go!」を考えました。出来たことは、「チーム新しい風」結成で君手のミーティングを持てた事です。そこで好きなことが出来る例会を企画しようと「京のよしもと」の社長に講演頂き、勉強したいテーマとしてはAIDSと発達障害を取り上げ、実際にチャーム（HIVサポートライン関西）のキャンプでは従来の食事支援だけではなく、コーラスにも取り組みました。対して、BFの応募は叶わず、70周年事業で希望するテーマは実現出来ませんでした。一方、多くの経験ができました。韓国NAM TEGUクラブやDBCの十勝クラブ、三島クラブとの交流を会長の立場で経験出来たことは貴重でした。リーダーとして考え、行動することが責務と考え一年間取り組んだことが、クラブのためよりも私個人にはありますが、財産をもたらしてくれたことは感謝に尽きません。ありがとうございました。



福知山ワイズメンズクラブ 会長 堀 一博

福知山クラブでは、1月に節目となる第40回席上書初め大会を無事終了したのち、半世紀にわたって福知山YMCAならびに福知山ワイズメンズクラブを牽引してこられた足立長逸理事長が、健康上の理由で引退退会されました。それに伴いもうお一方もクラブを去られ、現在会員は5名、うち3名は高齢ということで、YMCAならびにクラブの維持、活動が実質的に困難な状況にあります。加えて現在の会員がこれ以上減らないうちに、借地に立地しているYMCA会館の処置について見直しを持っておく必要があります。このような事柄について、来る5月27日（土）の総会で協議いたします。クラブの存続も含めて今後のことは、総会の後でなければ分かりません。このような報告をすることになって残念ですし、力不足を申し訳なく思っております。



京都バレスワイズメンズクラブ 会長 安達 雅直

入会して十年が経ち今期、会長という大役を任せられました。入会した年齢が低かった事もあり、この時点、またこの年齢で会長を経験する事ができたのは、私自身の人生にとってとても勉強になる一年となりました。



「効率的に効果的に」という主題を掲げ、三役始めクラブメンバーに支えられて、この一年を終えようとしています。元来インドアな性分でしたが、Yサ事業にてサバエキャンプ場での開設ワークに参加、クリスマスキャロリング、チャリティーランでは人生初のクォーターマラソンへ参加するなど、YMCAへの理解を深めると同時に、体を動かす楽しさも知りました。EMC事業では、8名の入会者を迎えることができました。10名の目標にはわずかに届きませんが、EMC懇親会を通してベテランメンバーと交流することで、新入会員の積極的なクラブへの参加を促すことが出来たと感じています。至らぬ点もあつたとは思いますが、この一年がクラブにとってより良い方向へ進み、少しでも京都部に貢献できたことなら嬉しく思います。

京都ウエストワイズメンズクラブ 会長 角谷 多喜治

今期を振り返ると…各例会やワーク・各委員会・役員会・三役会等、記憶に残っているのはメンバーの皆様との素晴らしい笑顔で、只々「会長職」を楽しませて頂いたという気持ち一杯です。



クラブ運営にご尽力頂きました三役の皆様を始め、各委員長の皆様、そして積極的にご参加頂きましたメンバーの皆様には本当に感謝申し上げます。

自分自身が会長職を全う出来たかどうかは別として、この一年間で、素晴らしいワイズメンの皆様に出会う度…「この原動力は何なのか」を考え、また、京都ウエストメンバーの皆様との数々の活動の中において、明るく楽しく誠実にそして、時には羽目を外しながら一緒に出来たことは、私にとって大変貴重な財産となりました。

最後に、この一年間、何度が一緒に参加して楽しんで子供達とワイズ活動を支えてくれた妻に心から感謝して、「今期の振り返り」とさせて頂きます。

京都キャピタルワイズメンズクラブ 会長 森 繁樹

今期を振り返ると、台北アルファクラブとの旧C締結が始まり、9月に新メンバー荒川さん、宮崎さん2人の入会式があり、あっという間に前半が過ぎました。後半は、やっとのことで次々期会長が決まり



ホットシー安心、東山荘での第2回東西交流会と東京クラブとのD B C、大成功に終わったメネトリ例会、独自事業のメタセコイヤフェスティバル等、上半期より更にあっという間の下半期であったように思われます。

会長をやるに当たり、1度限りのキャピタルクラブ会長、後継のないように、精一杯、会長職に取り組んできました。会長をさせて頂いて本当によかったと実感しております。これからのワイズ活動に何が役立つと思います。次期は、田中升啓会長をバックアップし、クラブ発展の為に尽力したいと思います。最後に、廣井京都部長を始め京都部の役員の皆様、同期会長の皆様、たいへんお世話になりました。ありがとうございます。これからもどうぞ、宜しくお願い致します。

京都めいぶるワイズメンズクラブ 会長 松村 康弘

主題：『未来に向かって』、副題：「今、一步踏み出そう」を掲げて、3回目の会長もあっという間に今期の終わりを迎えようとしています。今年に入って新年例会に続き、半期



総会で京都部報2号にも書きましたが、熊本地震復興支援金の贈呈について承認を頂きました。2月は、ウイングクラブのホストで京都部OSチャリティーボウリングに支援先の積慶園園児とスペシャルオリンピックスのアスリートと一緒に参加しました。3月は毎年参加している車椅子駅伝で選手のバス乗降の介助ボランティアを行いました。4月は支援先の西神会とさくら祭りで福島県浪江焼きそばを焼いて参加協力しました。例会は、平野神社で桜が満開の中、EMCファミリー例会を行いました。

今期最大イベントの、三国IBC会議・合同例会を韓国文鶴クラブ・台湾長春クラブをお迎えして、5月5日～7日に行いました。また、前期に引き続き熊本地震の復興支援を行うため、三国合同例会で三国合同奉仕資金とめいぶるの支援金を合わせて、三クラブと一緒に熊本ひがしクラブへ支援金をお渡し致しました。続いて、インターナショナル・チャリティーランは、今年もTシャツの取扱が出来ないので寄付が出来ませんでした。支援先の積慶園園児と西神会「ふらっと」の利用者さんがコスチュームランに参加して、西神会「ふらっと」の皆様が見事、「三益商事 Dream as one賞」を受賞されました。あとは、西日本区大会、積慶園の地域清掃事業の「こみせロ運動」と引継例会を残すのみとなりました。この1年皆様のご支援に感謝いたします。



三国IBC合同例会（韓国文鶴クラブ・台湾長春クラブ・京都めいぶるクラブ）



熊本ひがしクラブへ熊本地震復興支援金を贈呈（三国合同奉仕資金含む）

京都プリンスワイズメンズクラブ 会長 蒔田 茂夫

本来プリンスクラブの第31代会長は田中邦昭ワイズでした。しかし体調を壊されたことで代わりにお引受けしたかたちでスタートした今期でした。

会長主題を「いつでも本気！」として動き出した今期、振り返るとあとという間の一年でした。例年の通り京都YMCAサバエ教育キャンプ場の開設ワークから今期が始まりました。今西ワイズのコメット快くん伶くんが私たちと同じように一生懸命ワークしてくれたことに感謝と感動で、また一年頑張ろうと思った一日でした。プリンスクラブは今期、廣井京都部長を輩出する期となりました。そんな中何と言っても京都部会をホストクラブとして開催し大成功したことは、わたしはじめメンバーの皆様も最も印象深い出来事だったのではないのでしょうか。あの時、決して多くないメンバー全員で限られた時間の中ひとりひとりが「本気」



を出して考え行動して頂いた結果が大成功につながったと思っています。メンバーの皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

そしてまたプリンスクラブは今期「プリンス30プロジェクト」を立ち上げました。クラブチャーター30周年を機にメンバー数を30人にするという計画です。現在未だ結果こそ出ていませんが、継続していかなければいけない事と思っています。今プリンスクラブの現状は決して良いとは言えない所もあります。メンバー数が少ないゆえ規律が曖昧になったり多くの事業や行事が負担になったりしていると思います。そんな中今期例会の冒頭にわたしが言い続けてきた主題の通りメンバー全員がそれぞれの担当を「本気」でこなして頂いたと思います。重ねて「本気で感謝」致します。最後になりましたが、廣井京都部部長、事務局、各事業主直の皆様 一年間大変お世話になりましたありがとうございました。

京都センチュリーワイズメンズクラブ 会長 平井 一郎

昨年7月、会長に就任致しまして、早一年が過ぎようとしています。会長主題＝ステージに上がるう「栄光にチャレンジ!!」副題＝「メンバー1人1人が主役です」の通り、今年3月26日中京区三条木屋町下がる。さざんか亭で、熊本大震災復興支援チャリティーコンサートを開催いたしまして、メンバー一同ステージに上



がって頂きまして、当クラブ初の催しでした。結果は参加者全員が満足感があり、成功でした。それとは対象的に、今季の目標の新入会員5名ですが、残念ながら無しです。このままでは、高齢化もあり、危機状態になります。どうすればよいが、たとえば例会費、催しの内容、会員だけのメリット等、あらゆる角度で、見直しを早急に検討すべきだとおもいます。全体的な今年の例会は、見学、音楽、作詞・作曲等の解説、マジシャン、メマス例会、部長公式訪問、新春落語会、メネット例会、かな書道等、充実した内容で勉強になりました。最後になりますが、各講師の皆様方ありがとうございました。

京都ウイングワイズメンズクラブ 会長 佐々木 貴二

今期を振り返ってまずは、私事の都合で京都部の役員様、そして各クラブの会長様にご迷惑をおかけしまして申し訳ございません、そしてありがとうございます。一年を通して私は、本当に人に助けられてきました。



そして人の温かさをすごく感じる一年でした深く感謝申し上げます。

今期の会長主題に「さすがウイングだからウイングクラブ」と題し取り組みました。それは、仕事に遊びにワイズ活動に、すべてにおいて、おもいっきり取り組み姿勢、少しやりすぎなところもありますが我がウイングクラブの良さであり、私はさすがウイングだからウイングクラブなんだと思っています。この良さを1人でも多くのメンバーに届けてくれれば、それだけで嬉しく思います。そしてウイング家族の絆を深めて今後とも頑張っていきたいと思っています。1年間本当にありがとうございました。

京都洛中ワイズメンズクラブ 会長 竹山 直司

今期会長職を受けて気が付けば残りわずか、遣り送げた事とやり残した事を振り返ると一年では足りないと思いましたが、でも今期は4年振りに新入会員が2名入り、新たなDBC締結の覚書の準備が出来自分の中では良い経験が出来たと満足しております。



残り任期も最後までやり遂げたいと思います。

最後に会長職と京都部役員は2年任期が最適だと思います。

いつかそうなれば嬉しいです。

京都エイブルワイズメンズクラブ 会長 山根 拓也

2016年7月～2017年6月 第27期会長職を振り返って、思うことは京都部ワイズメンズクラブさまの協力により、CATT合同例会に115名の出席を頂きまして、先ずはお礼申し上げます。



これを機に、少数メンバーのクラブが集まってゲスト参加の望める合同例会の開催に繋がって行ける事を願っております。

エイブルクラブの継続アクティビティも実行できました事と来季5回ほどですが、京都市内にて当クラブの合同委員会例会を企画できましたので、オープンにして、各クラブ様との親睦を深めたいと思っています。

5月例会にて新入メンバーの入会式を開催出来たことは大変うれしく思っております。

2年連続の会長を務めますので、皆様宜しくお願い致します。

京都グローバルワイズメンズクラブ 会長 情野 剛

今期24期は25周年へ向けての播渡し役と会員増強という2つに重点をおき会長主題「滄夢を語る」を掲げクラブ運営を進めてまいりました。おかげで25周年事業の一つ、ネパールに学校を建てるプロジェクトも立ち上がり、資金面含めて順調に推移し25期への播渡し役が務められた事、山崎雄西日本区EMC主任、久保田雅彦京都部EMC主査のご尽力も賜り会員増強においては6名もの新しい仲間を迎えることができました。



また各事業委員長の陣頭指揮のもとメンバー一人ひとりが存分に力を発揮され、その役割に徹していただいたことにより、例会はもちろん毎月開催される多様な事業も見事成功裏に終えることが出来ました。私自身も多くの事を学び、多くの思い出を心に刻む事ができました。これもひとえに私に全力で支えてくださいました三役の皆さん、各事業委員長の皆さん、そしてグローバルクラブのメンバーの皆さんのお蔭です。改めて深く感謝と御礼を申し上げます。

1年間本当にありがとうございました。

京都みやびワイズメンズクラブ 会長 中原 茂

「仲間を愉やしてもっと楽しく」を掲げて今期をスタート、キックオフ例会では、まずは、私が3人入れますからと大見得を切りましたが、3人どころか1人もかなわず、無残な結果を迎えました。メンバーの皆様に合わせる顔も御座いませんといったところですが、今期は達成できませんでしたが、来期はやるぞ！とポジティブな中原です。7年越しの入会式も合同例会から見せていただきました。まだまだいけるぞ！そんな勇氣と元氣を与えていただきました。前次期会長の事業計画を見て工夫されているなど思いました。



今期4月の例会は急遽ホームのホテルから外に出て例会を開催。みんなでお酒飲むのって、久しぶりだと思いました。以前は役員会の傍りは必ずだったものが、いつの間にか減っていた。酒を飲みながらたわいもないことでも話している中から何か生まれてくるものです。

充実した例会と親睦を深めるお酒、この両輪がうまく回っていけば夢も叶うはず。来期は楽しみます。



京都トップスワイズメンズクラブ 会長 河合 博之

あっという間の会長職、気がつけば残り僅か会長主題として「温故創造～大木から銘木へ～」を掲げ2016年7月にスタート。期初は、昨年来の意願である北京都フロンティアクラブのチャーターに奔走！例会の在り方を見つめ直すために他クラブ訪問を重ね、年内に7回の例会に参加しました。なかなか思うような結果も出さず挫けそうになりましたが、年明けから新メンバーの加入に始まり、2月にはDBC姉妹先の沿津クラブ50周年記念例会へメンバー30名がバスで行けたことはたいへん感慨深く参加メンバーの心にも残ったことに違いないと思います！6月の西日本区大会には遠方にもかかわらず多くのメンバーが参加してくれました！また6月の引継例会に向けて、三役さんがPTを組んでサプライズを虎視眈々と企ててくれています（笑）今は大木から銘木への礎を築けた一年になったと満足しています。このように一年を過ごさせたメンバーへ感謝の気持ちで一杯です。



京都トッピーワイズメンズクラブ 会長 安井 基晃

今期振り返りまして、会長期迎えるまでが長く感じて期に入るとあっという間の一年でした。ドライバー委員会が色々なプログラムを考えて楽しい例会を開催でき、事業もメンバーの参加が難しいなか事業計画の全てに参加できました。今期は次期が周年記念を迎えるにあたっていい形で次期会長にバトンを選せたらと思って会長主題を「アップデート」メンバー全員がレベルアップして周年を迎えられたらと思いましたが、なかなか難しいもので3月までメンバー増加が出来なかったのですが、やっと4月に3人のメンバーの入会式ができて今期メンバー増加で終わることができ少しほっとしています。この一年の経験を生かしてこれからのワイズ生活を楽しんでいきたいと思っています。廣井京都部長、三役、主査、同期会長の皆様一年お疲れ様でした。



京都東稜ワイズメンズクラブ 会長 延近 昌彦

前の期から病氣治療に専念しておりましたが、今期の下期よりようやく会長としてのお役目を行えるようになりました。

前の期の1月から約1年間本当にメンバーの方にはご苦労をおかけする事となりました。

特に三役様には相当のご負担をお掛けしました。クラブ内をまとめて頂き、私が出席できない会議等に代理として出席頂きました。この場をお借りしまして御礼申し上げます。

さて、メンバーの皆様のご多大なるサポートを頂きながら本格的に復讐をした今期1月より会長らしいお役目を始めることができてました。

特に印象深い事としては、CATT合同例会では各会長様より病氣の事を御心配頂き、親子兄弟クラブの絆を改めて感じる事ができ有難く思いました。

部長をはじめ京都部役員の方、各会長様には本当にお世話になりました。至らないところばかりの会長でしたが、お支え頂きました事感謝致します。有難う御座いました。



京都ウェルワイズメンズクラブ 会長 奥村 治

あと残り数ヶ月で今期が終了します。それと同時に年間の全行事と会長職も終了します。何となく名残惜しい時季に差し掛かってきました。この一年間を振り返ってみますと会長職であった今期は体力的に厳しい時季もありましたがそれ以上に充実した期となりました。

クラブ運営や事業に関しましては、会長職でしか体験する事の出来ない充実感と達成感を身にも感じながら常クラブ以外の多数の方々との目的を分かち合い融和な時間を過ごさせて頂きました。これも備にクラブメンバーのご多大なご協力のお蔭だと実感しております。そして今この季節を迎えております。

この期をスタートするに当たり掲げました私の会長スローガン「話・和・輪」一繋げようウェルの3つのWは2名の新入会員の入会でWは間違いなく大きくなりました。メンバー増員はクラブにとりまして大きな財産となりましたし今後はこのWをクロスさせてより強い関係を築いていければと思います。最終目的はオリンピックのロゴマークです。

前会長の田楽さんから受け継がせて頂いた会長たすきを、次期会長の谷さんに受け渡す準備の時季になりました。驚いでこられたたすきの重さは想像以上に重かったです。ラストサポート出来る体力は残っていませんが各次期会長が走り出し易いように、ゆっくり正確に渡したいと思っています。最後になりましたが一年間お世話になりました皆様へ厚く感謝申し上げます。ありがとうございました。そしてまた来期に向かって・・・。



京都ZEROワイズメンズクラブ 会長 宮越 寛

今期のZEROでは、YサとしてはYMCA 関連事業を基本に活動しました。中でも SHOE TIME2016 は GCS 支援に貢献できた他にワイズデーとしても広く一般の皆様へ広報できたと思います。そしてCSで

は日向大神宮環境維持整備サポートと南門市天引区の村おこしサポートの二つを中心に活動し、サポート先様からも好評を得ることができました。さらには、これもまたワイズを広く一般の皆様へ知っていただきました。EMCでは多数のゲストを招きました。豊より質ではありませんが、結果として3名の納骨となりました。ファンドではクラブファンドとして10周年記念ACT資金の一部を集める為に広く一般の方にご参加いただいたチャリティーマーライブを実施し、その他のファンドを含めるとチャーター以来最高の結果となりそうです。交流事業ではIBC 先のハワイのカイムキクラブに訪問し、次期に自クラブがホストする第22回京都部部会に参加いただくようアピールし、数名の方が参加していただける予定となりました。このように報告できることについてメンバーの皆様のご努力と協力にとっても感謝する次第です。また、



会長という経験をさせていただいたことにも大変ありがたく思っています。どうが会長未経験のワイズの方々も、折角ワイズに関わったのですから是非とも会長の経験を！

最後になりましたが、次期は京都部部長職出期となります。部会も含めZEROのメンバーはフルパワーでの1年となりますが、皆様の協力なしには何もできません。特にワイズデーでは絶大な力をお力添えをお願いしたいところです。

が、先ずは9/10(日)の第22回京都部部会へお越しくださいな!!

北京都フロンティアワイズメンズクラブ

会長 辻 直紀

昨年9月にチャーターしたクラブですので、会長としての期間も9ヶ月半と、とても短い間でした。クラブ設立最初の会長という大役を務めるには非常に不安がありました。設立委員会の方々や、チャーターメンバーの支えや助けを受け、十分な事は出来ていなかったとは思いますが、無事に任期を満了する事が出来そう



です。

月に一度の例会、各事業委員会、三役会、役員会と、クラブ運営も少しずつ形になってきました。

私はこれまで、このようなクラブや会などに所属した事がなく、自己啓発の側面からも、とても有意義な経験をさせて頂きました。

残る仕事は、次期会長へスムーズにバトンを渡す事であり、来期からは、今期のこの貴重な体験を他のメンバーへ伝えていく事が私の役割ではないかと思えます。サポートして頂いた設立委員会の方々、そして当クラブのメンバーに感謝します。

第21期 京都部仮決算

17.5.26作成

収入の部	※体は未確定			単位:円
科目	20期決算額	21期予算	21期仮決算額	備考 (21期仮決算説明)
部費	1,633,700	1,577,800	1,635,400	前期468名X1700 後期494名X1700 連絡主事免除
部活動援助金1	100,000	100,000	100,000	西日本区から部一律
部活動援助金2	98,200	97,200	93,800	1名当たり¥200×468名(特別メネット5名含)
西日本区ファンド収益	0	0	0	
利息	315	0	13	
単年度収入小計	1,832,215	1,774,800	1,829,213	
前期繰越金	1,482,923	1,720,340	1,720,340	
西日本区支援金	50,000	250,000	150,000	北京都フロンティア支援金及びYYYフォーラム支援金
合計	3,365,138	3,745,140	3,699,553	

支出の部				単位:円
科目	20期決算額	21期予算	21期仮決算額	備考
主事・三役活動費	100,000	100,000	100,000	20,000×5事業
部事業費	686,098	1,098,000	718,874	
会議費	88,800	80,000	23,760	会議会場費
印刷費	77,801	150,000	105,062	部報・会議資料等
部会補助費	459,459	481,000	485,000	¥1,000×485名(連絡主事含む)
研修費	190,000	229,000	238,000	研修会登録費(10月、3月)
通信費	42,088	50,000	52,542	郵便切手、部ホームページ維持費
交通費補助費	0	30,000	30,000	西日本区主任交通費補助(メネット例金)
事務費	758	20,000	30,227	
慶弔費	0	20,000	100,000	神崎総主事退任給別
公式ビクター受入費	0	50,000	0	
単年度支出小計	1,644,798	2,308,000	1,883,465	
次期繰越金	1,720,340	1,437,140	1,818,088	
合計	3,365,138	3,745,140	3,699,553	

特別会計・収入の部				単位:円
科目	20期決算額	21期予算	21期仮決算額	備考
前期繰越金	394,958	354,526	354,526	
クラブ支援金	180,000	300,000	185,000	
一般会計より振替	0	0	0	
合計	554,958	654,526	539,526	

特別会計・支出の部				単位:円
科目	20期決算額	21期予算	21期仮決算額	備考
GCS支援金	100,000	300,000	200,000	グローバルコミュニケーションイン7モイ支援
YC支援金	0		30,000	ユース支援金(1名)
予備費	100,432		0	STEP支援(振込手数料含む)
次期繰越	354,526	354,526	309,526	
合計	554,958	654,526	539,526	

第21期 京都部仮決算・支出明細

17.5.26作成

支出の部		斜体は未確定			単位円
科目	細目	20期決算額	21期予算	21期仮決算	備考
主活動費	Yサ・ユース	20,000	20,000	20,000	
	EMC	20,000	20,000	20,000	
	地域奉仕・環境	20,000	20,000	20,000	
	ファンド	0	0	0	
	国際・交流(交流)	20,000	20,000	20,000	
	広報	0	0	0	
	メネット	20,000	20,000	20,000	
	三役活動費	0	0	0	
	小計	100,000	100,000	100,000	
	部事業費	YYYフォーラム	55,199	50,000	50,000
CSチャリティーボウリング		40,000	40,000	40,000	21期ホスト・ウィングクラブ
事業懇談会・委員会		46,060	60,000	0	5事業3000×2回+PR3000×10回
国際協力基金支援		0	0	0	
ワイズデー事業		180,000	200,000	106,250	東駿-ZEROクラブ
全国リーダー研修会		0	0	0	
合同メネット会開催		0	100,000	50,000	
PR委員会(広報事業)		60,000	60,000	60,000	
舞鶴クラブ設立準備		304,837	500,000	400,000	西日本区100,000円 部設立税金300,000円
予備費		0	88,000	12,624	
小計	686,096	1,088,000	718,874		
会議費	評議会・役員会	88,600	80,000	23,760	ホテル、マナホール、敬室使用料
印刷費	部報	68,000	100,000	86,400	2回印刷
	会議資料	8,801	50,000	18,662	評議会・役員会・三役会資料作成
	小計	77,801	150,000	105,062	
部会補助費	京都部部会補助	459,459	481,000	485,000	1,000円×485名(主事含む)
研修費	部長	17,000	17,000	17,000	10月次期役員研修会
	次期部長	32,000	33,000	34,000	10月次期役員研修会3月次期会長主事研修会
	次期主査	80,000	80,000	85,000	3月次期会長主事研修会(17,000×5)
	次期三役	58,000	98,000	102,000	10月・17,000×3、3月・17,000×3
	小計	190,000	228,000	238,000	
通信費	郵便・送込手数料等	9,146	10,000	19,602	
	部・ホームページ関係	32,940	40,000	32,940	
	小計	42,086	50,000	52,542	
交通費補助費	西日本区事業主任交通費	0	30,000	30,000	西日本区主任交通費補助(チケット例)
事務費	事務備品	756	20,000	30,227	
慶弔費		0	20,000	100,000	神崎総主事主任訃別
公式ビシター受入費		0	50,000	0	
支出合計		1,644,798	2,308,000	1,883,465	

特別会計・支出の部

単位円

科目	細目	20期決算額	21期予算額	21期仮決算	備考
GCS支援金		100,000	300,000	200,000	グローバルコミュニケーション7月7日支援
ユース支援金		0		30,000	20期分ユース支援金(1名)
予備費	STEP等	100,432			
次期繰越		354,526	354,526	308,526	
合計		554,958	654,526	538,526	